事例No.	2915
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	静岡県藤枝市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・ICT ・AI

事例種類	ICT

事例内容・タイトル

非常時・災害時の共助の確保：藤枝市の災害ダッシュボード

出典

活力ある地域社会の実現に向けた情報通信基盤と利活用の在り方に関する懇談会（第1回）

(4) データ連携による付加価値の付与

○ 非常時・災害時の共助の確保：藤枝市の災害ダッシュボード

地域課題・背景

災害時に、迅速かつ一元的に情報把握を行う手段がない

- 住民から見て避難すべきタイミングが分からない
- 情報がばらばらの媒体で表示されていると、情報が錯綜し混乱が生じる恐れがある

サービス内容

概要

- 市内の河川に水位計と公共施設に雨量計を取り付け、超音波や電波 (レーダー) により観測した雨量と水位をインターネット上に公開する「藤枝市水位・雨量観測システム」を構築
- LPWAを活用し、市内21地点(水位計17河川19地点、雨量計2地点) に設置した計測器からの情報データは、場所や時間に関係なく、いつでも誰でもスマホなどの情報端末機器を介して閲覧が可能



サービス提供者 ㈱イートラスト

検討フェーズ 実装段階 (2018年5月より)

導入にあたって工夫した点

- ICTによる地域活性化を目的とした産学官連携団体「藤枝ICTコンソーシアム」を設立
- ソフトバンク㈱と包括連携協定を締結。市内のほぼ全域をカバーするLPWA (Low Power Wide Area) 通信網を敷設。「IoT (LPWA) プラットフォームを活用した実証実験事業 (公共テーマ型)」を契機にシステム構築
- 観測計器の設置にあたっては、国や県が設置し情報公開している水位計、雨量計をカバーするよう配置を検討するとともに、住民の避難行動のために必要とする地点に設置。
- 観測地点が増えることで、住民が閲覧しにくくならないよう「藤枝市水位・雨量観測システム」の刷新を予定。
- 令和2年度より国の「スマートシティ先行モデルプロジェクト」により、市内中小河川の観測地点の水位・雨量データや気象データ等を用いてAIにより数時間後の河川水位予測を予測する実証実験に、当該サービス提供者も参加し、取り組む。
- 住民の避難行動を促すとともに、事前の水防活動の実現のため、引き続き予測精度向上のための実証実験に取り組み、令和5年度の実装を目指す。

【出典】藤枝市　水位・雨量観測システム（https://fujieda.e-monitor.jp/fujieda/）及び
ソフトバンク 事例紹介ページ（https://www.softbank.jp/biz/customer-success-stories/201808/city-fujieda-shizuoka/）を基に作成